

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月29日更新

事務事業名		福祉会館管理事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☒ 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部
	施策	18	社会福祉の推進			所属課	福祉課
	基本事業	53	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班
予算科目		会計一般	款3	項1	目2	事業連番10431	法令根拠
		福祉会館設置条例					成果優先度評価結果
							コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度)
							☐ 期間限定複数年度 (年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) ①ウィーブル内の合志市福祉会館の管理運営業務を指定管理者(合志市社会福祉協議会)から直営に戻した。 ②福祉会館利用者の集計及び管理者である社会福祉協議会は、高齢者世帯、母子世帯、傷病世帯等の増加や地域福祉への関心の高まりから、社会福祉協議会によせられる期待は大きく、その役割も重要なものとなっている。 ③福祉会館の充実を図るため、平成21年度より直営とし地域福祉支援事業を社会福祉協議会に委託し実施している。
【業務の流れ】	福祉会館では相談支援事業などの事業を展開。
【主な予算費目】	照明安定器等の修繕費
【意見や要望】	合志市社会福祉協議会の活動拠点としては、ふれあい館、老人憩いの家及びみどり館があり、3施設とも合志市社会福祉協議会が指定管理者となっている。特に旧合志地区においては福祉会館での積極的な事業展開を求められている。 また、施設使用料をウィーブルと一元化した。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO) 平成21年度より福祉会館で相談事業を開始し、それ以降はその推移を見守っている。		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 相談機能をはじめとした会館利用の充実を図る
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ア 委託料に関する予算執行事務に要する時間	H	使用料及び賃借料(カラオケ機械リース料)の減
イ		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ア 指定管理者への申込み団体
		イ 館の利用者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
創意工夫に富んだ公の施設の管理運営		→ア 苦情の件数
		イ 館の修理金額
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
直営に戻し、利用者の利便性を考慮して21年度に改修を行ったことにより苦情の減少が見込まれる。また、開館して18年を迎えるので、経年劣化等による改修修繕が今後も発生する。		全体計画
		～年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	310	394	297	268	239	603	653
	人件費	(A)事業費計	千円	310	394	297	268	239	603	653
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	1	2	1	1	0
	人件費	延べ業務時間	時間	0	0	50	20	50	50	0
		(B)人件費計	千円	0	0	199	79	199	199	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	310	394	496	347	438	802	852

事務事業名	福祉会館管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 会館の風呂場を改修し、会議室として活用できるようにし、利用者の利便を図った。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成21年9月より直営にしたことで達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 民間が持つノウハウを活用することにより、サービスの向上が図られる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 福祉会館は総合センターヴィーブル内にあるため、総合センター全体としての活用・運用を検討し、平成21年9月より直営とした。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 福祉会館の指定管理の場合、消耗品等の経費のみを委託料に当てているので削減の余地は無い。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 契約等既に交わしてあり時間の削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 随意契約により契約を交わしており公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 利用者の利便性を考慮し、カラオケ設備を設置し、風呂を事務所として使用できるよう改修したことにより適正な役割分担ができる。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

直営にしたことにより、リフォームを実施し、利用者の利便性を向上させた。地域福祉の拠点化を進めることができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								